

旅行マーケットの最新動向

2008年8月27日

財団法人日本交通公社

1. 旅行マーケットの最新動向
2. 消費者アンケートからみる
国内宿泊旅行マーケット
3. 国内旅行市場の今後の見通し
4. 海外主要国の旅行

1. 旅行マーケットの最新動向

1. 旅行マーケットの最新動向

2. 消費者アンケートからみる国内宿泊旅行マーケット

3. 自分たちの地域のことを旅行者デーから知るには？

4. 国内旅行市場の今後の見通し

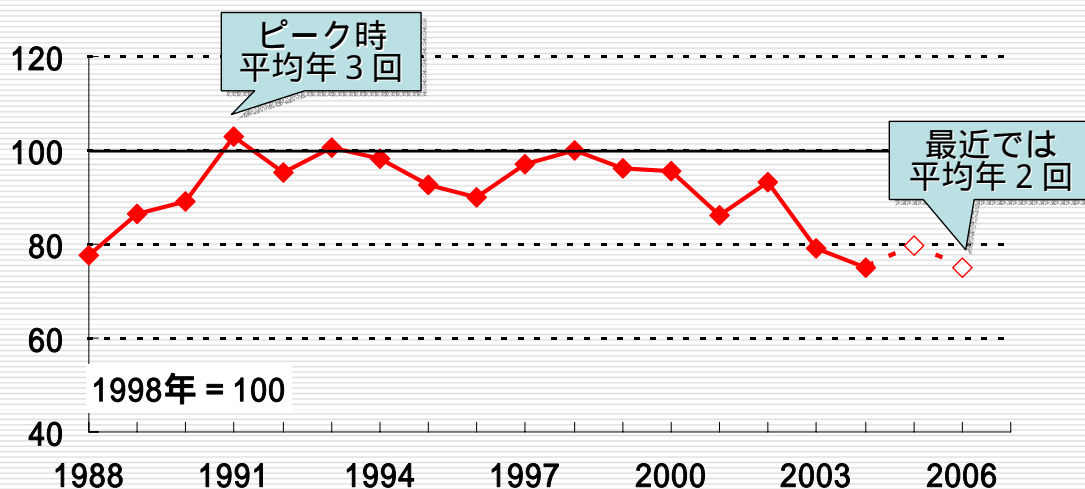
旅行マーケットの分類

【出発地と到着地により旅行市場を分類】

到着地 出発地	日本	海外
日本	国内旅行	日本人海外旅行 (アウトバウンド)
海外	訪日外国人旅行 (インバウンド)	

【国内宿泊旅行】 過去20年間の動向

【平均旅行回数の推移】（1998年を100とする指数表記）

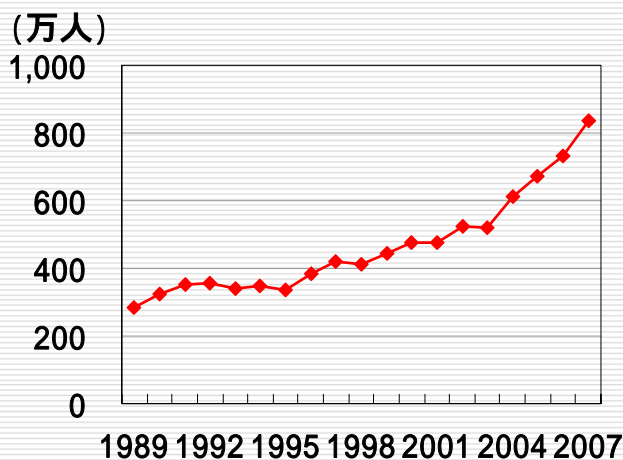


1998年以降、市場は伸び悩みをみせている

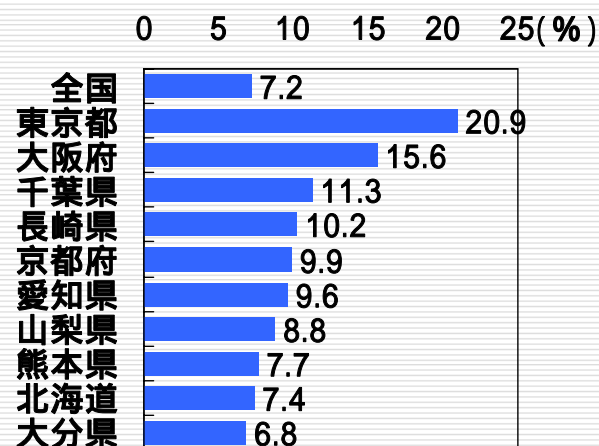
データ出所：国土交通省「観光白書」 05-06年は当財団推計 5

【訪日外国人旅行(インバウンド)】 過去20年間の動向

【訪日外国人旅行者数の推移】



【延べ宿泊数に占める外国人比率】 上位10都道府県(2007年)

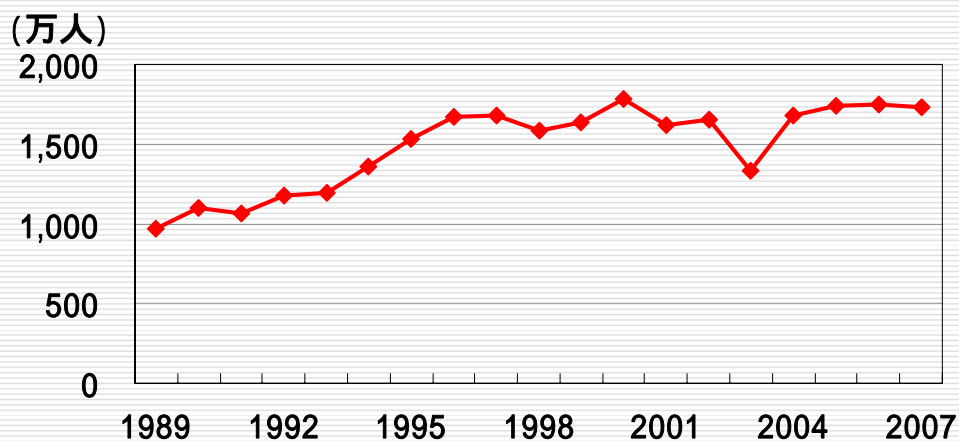


日本を訪れる外国人旅行者数は2003年以降急増
延べ宿泊数に占める外国人比率は全国で7%、東京では2割

データ出所：国際観光振興機構、国土交通省「宿泊旅行統計」 6

【日本人の海外旅行】 過去20年間の動向

【日本人海外旅行者数の推移】



1980年代後半から急増した海外旅行
90年代後半から横ばい傾向

データ出所：法務省「出入国管理統計」 7

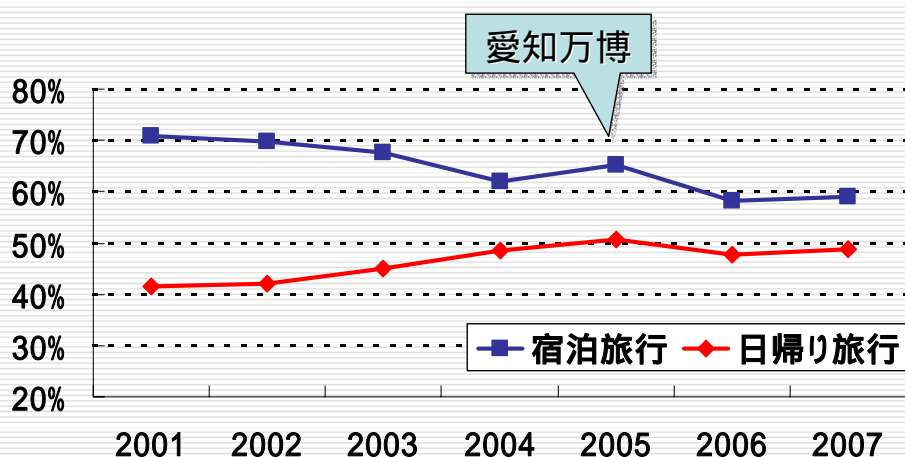
旅行マーケットの分類と動向

【出発地と到着地により旅行市場を分類】

到着地 \ 出発地	日本	海外
日本	国内旅行 98年以降伸び悩み	日本人海外旅行 90年代後半以降横ばい
海外	訪日外国人旅行 2003年以降急増	

【国内旅行(観光レクリエーション目的のみ)】

【過去1年間の旅行実施率】 (観光レクリエーション目的のみ)



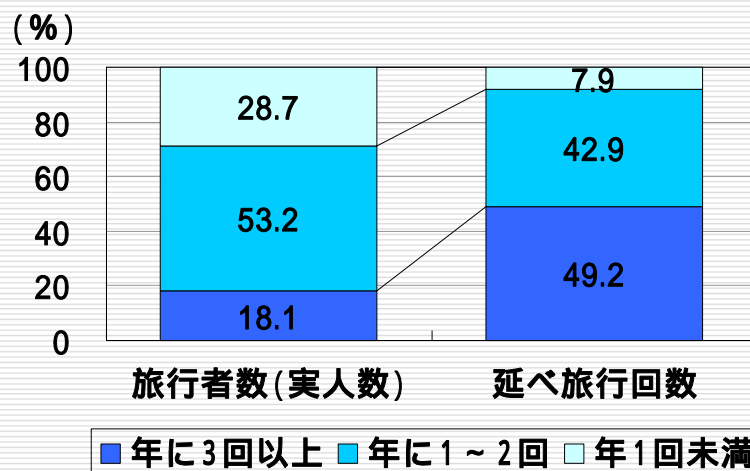
宿泊旅行の実施率は減少傾向
日帰り旅行は増加傾向

調査サンプルの性質上、実態よりも旅行参加率の数字が高めに出ています。

データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 9

【国内宿泊旅行(観光レクリエーション目的のみ)】

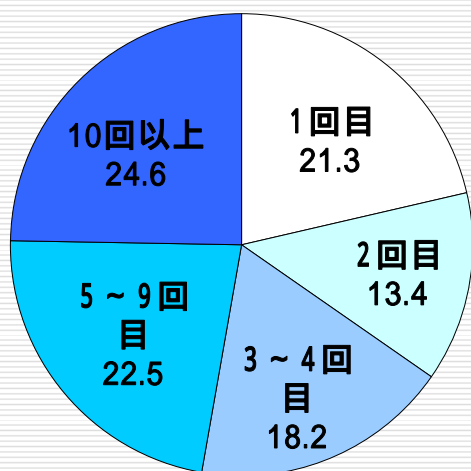
【旅行頻度別にみる旅行者数(実人数)と延べ旅行回数】 (観光レクリエーション目的の宿泊旅行のみ)



「年に3回以上」旅行する人が
延べ旅行回数の半数を占める

データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 10

【Q.その旅行先を訪れたのは何回目か】



全体の1/4が
同じ旅行先を
10回以上訪れている
約半数が5回以上訪問

(集計単位:人回)

データ出所:財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 11

1. 旅行マーケットの動向(長期的なトレンド)

- 1991年までは増加傾向(1971年1.24回 2001年1.62回)
- 宿泊日数の減少傾向(5日以上の旅行、1971年13% 2001年3.5%)
- 団体旅行の減少傾向(1971年33% 2001年9%)
- 周遊型の旅行から様々な旅行へ(1971年75% 2001年28%)
- 家族旅行の増加(1971年30% 2001年56%)
- 安近短傾向

データ出所:国土交通省「全国旅行動向調査」 12

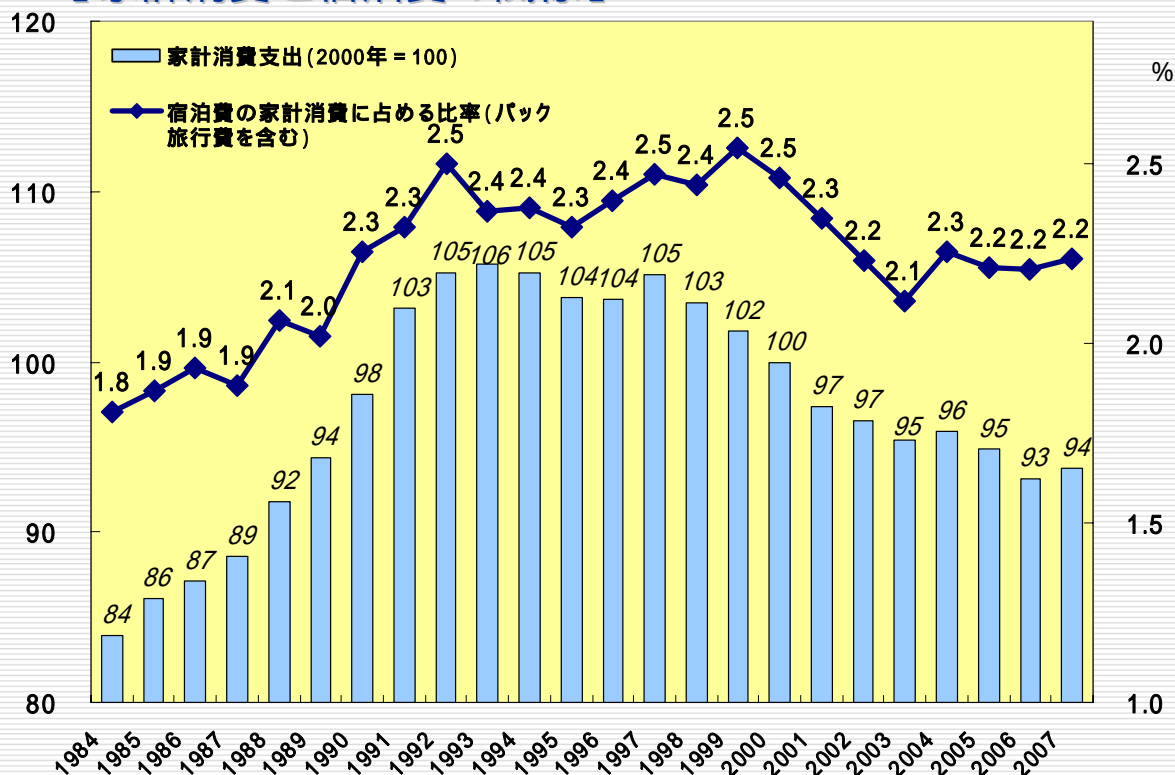
1. 旅行マーケットの最新動向

- 国内旅行市場は伸び悩みを見せており、今後も旅行者数の大幅な伸びは期待しにくい
- 宿泊旅行から日帰り旅行へのシフト
- 行く人は行く、行かない人は行かないという二極化、旅行経験の高い層が増加する『市場の成熟化』が進行
- リピーターが増加
- 旅行目的が多様化

13

1. 旅行マーケットの最新動向

【家計消費と宿泊費の関係】



資料:「家計調査年報」(総務省)

(農林漁家世帯を除く二人以上世帯。但し05年以降のシェア計算は農林漁家を含む系列による)

14

2．消費者アンケートからみる 国内宿泊旅行マーケット

1．旅行マーケットの
最新動向

2．消費者アンケートからみる
国内宿泊旅行マーケット

3．自分たちの地域のことを
旅行者データから知るには？

4．国内旅行市場の
今後の見通し

消費者アンケートからみる国内宿泊旅行マーケット

旅行者動向調査

- 対象　：全国18歳以上の個人
- 時期　：毎年10月
- 方法　：調査票の郵送による配布・回収
- 配布サンプル数：4,000人
- 有効サンプル数：2,000人前後（55%）
- 質問　：過去1年間に実施した旅行内容
今後行ってみたい旅行 など

観光レクリエーション目的の
国内宿泊旅行について分析

『旅行者動向』



毎年7月末に発行

一般的なマーケティングでは...
 個人の属性や「ライフステージ」で
 マーケットを区分
 (性別、年齢、家族構成など)

しかし、旅行の場合には
 「同行者」に左右されることが多い
 本人の属性だけでは分析できない

旅行者動向調査では
 「同行者」と「ライフステージ」で
 旅行者を区分して分析

旅行内容は同行者によって大きく変わる

【既婚男性（子供はいない）】

	友人旅行	夫婦旅行
出発日	土日祝 (44%) 平日 (34%)	平日 (39%) 土日祝 (35%)
同行者数	6人以上 (56%) 4人 (14%)	2人 (100%)
旅行タイプ	スポーツ (33%) わいわい過ごす (15%)	周遊観光 (25%) 温泉 (20%)
旅行費用 (1人1回あたり)	1万円～2万円未満 (44%)	3万円～4万円未満 (21%)

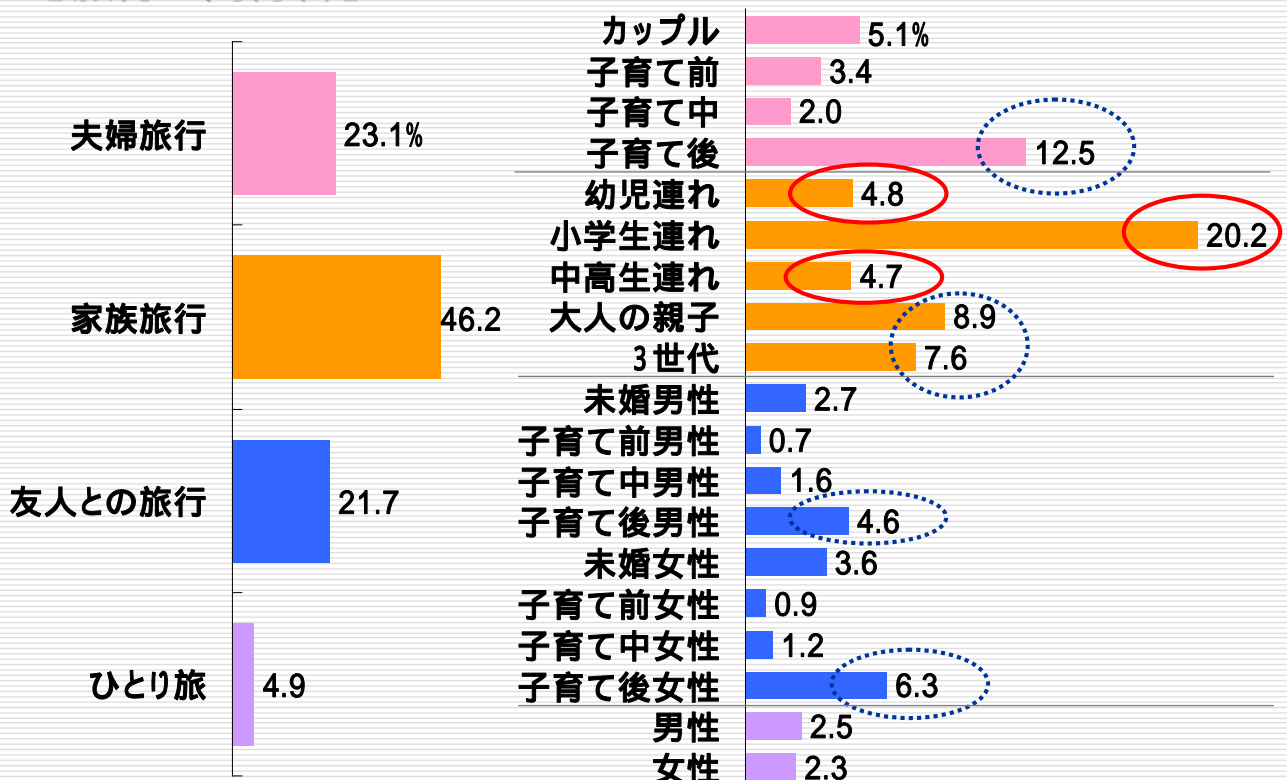
【子供がいる夫婦】

	子育て中	子育て後
出発日	夏休み (34%) 土日祝 (33%)	平日 (49%) 土日祝 (33%)
ツアー利用有無	利用せず (86%) フリープラン (12%)	利用せず (72%) 団体パッケージ (17%)
宿泊数	1泊 (59%) 平均：1.7泊	1泊 (55%) 平均：1.8泊
平均旅行費用	35,000円/人回	52,000円/人回

データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 19

データからみる国内宿泊旅行最新動向

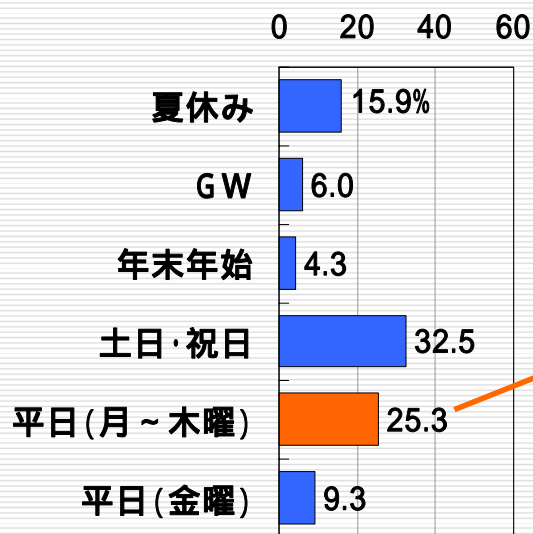
【旅行の同行者】



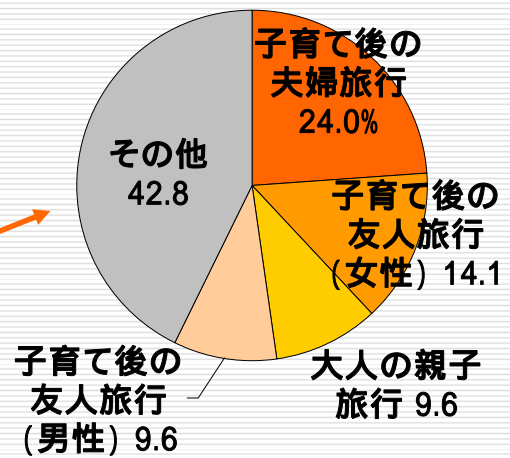
データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 20

データからみる国内宿泊旅行最新動向

【出発日】



【平日(月～木曜)の同行者シェア】



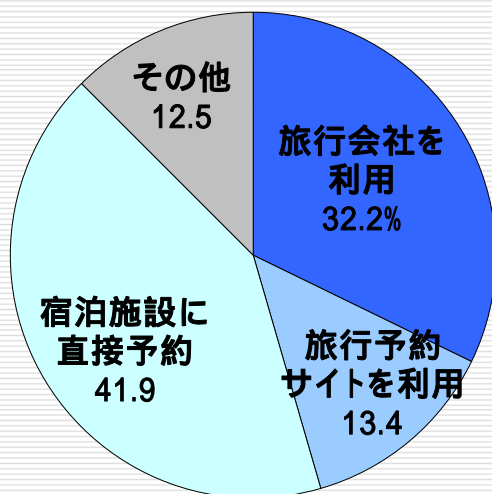
「土日・祝日」、「平日」がそれぞれ **3** 割

「平日(月～木)」の **6** 割が子育てを終えた層の旅行

データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 21

データからみる国内宿泊旅行最新動向

【旅行の申込み方法】



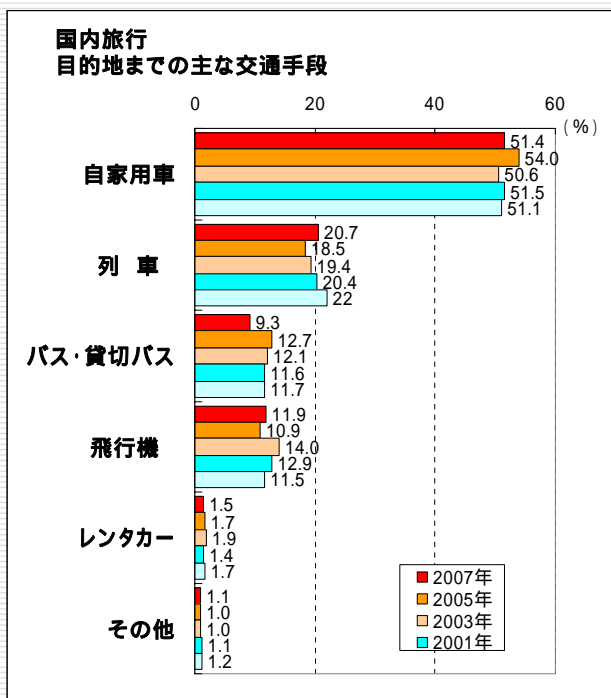
「旅行会社」利用は **3** 割

「宿泊施設に直接予約」が **4** 割
(電話：ネット = 4 : 1)

データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 22

データからみる国内宿泊旅行最新動向

【目的地までの交通手段】

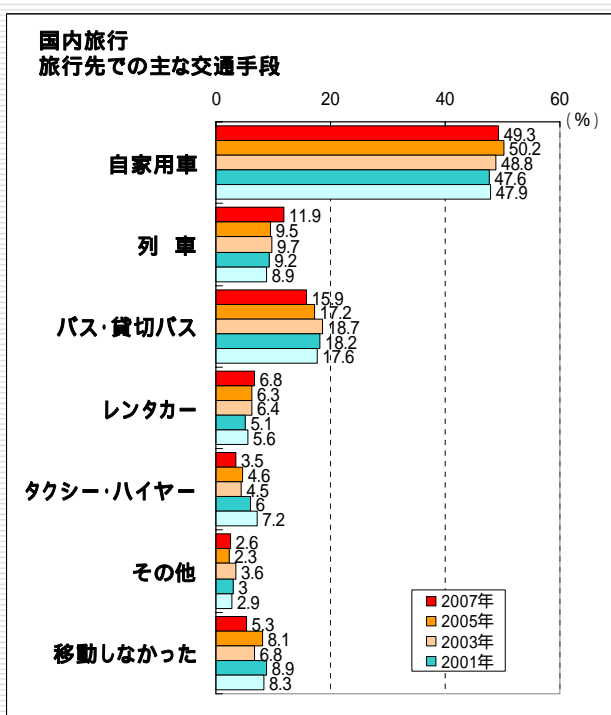


「自家用車」が最も多く
全体の **5** 割を占める
ここ数年大きな変化なし
「自家用車」利用者の
平均旅行費用が増加
ガソリン価格高騰の影響か

データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 23

データからみる国内宿泊旅行最新動向

【旅行先での交通手段】



「自家用車」が最も多く
全体の **5** 割を占める
レンタカーの増加傾向
タクシー・ハイヤーの減少
傾向

データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 24

国内宿泊旅行(観光レク目的のみ)

【同行者人数】	最も多いのは「2人旅」で 4割
【宿泊施設】	ホテルが 4割、年代問わず増加傾向
【宿泊数】	「1泊2日」 6割、平均泊数 1.6泊
【旅行費用】	最多価格帯 2万円台、平均 4万円
【宿泊予約】	ツアー利用率は 2割

データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 25

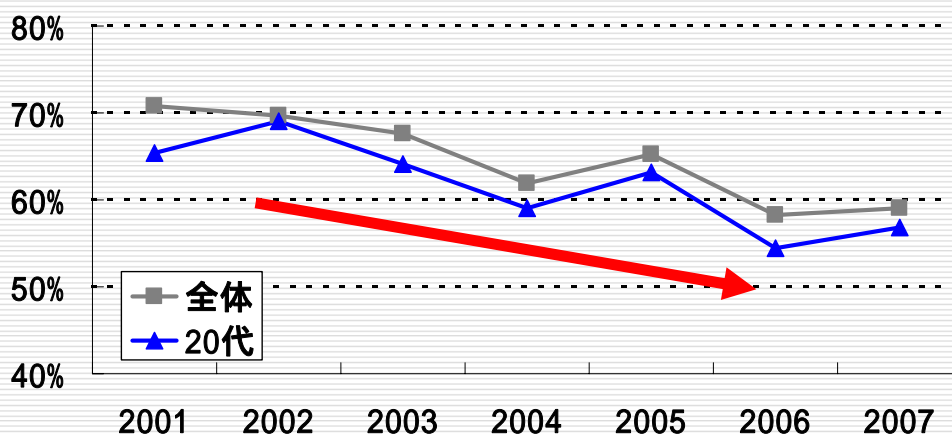
3 . 国内旅行市場の 今後の見通し

- 旅行者数の大幅な増加は期待しにくい
- 旅行経験の高い年配層のシェアが増加
- 市場はますます成熟化、高齢化が進む

では若い人は？

20代の国内旅行は年々減少？

【過去1年間の国内宿泊旅行実施率】
(観光レクリエーション目的のみ)



20代の旅行は年々減少傾向

調査サンプルの性質上、実態よりも旅行参加率の数字が高めに出ています。

夏の音楽イベントは旅行？

【夏の野外音楽コンサート】 若年層向けのロックイベント 『夏フェス』

フジロックフェスティバル(新潟県苗場)

4日間の開催で12万7千人来場、
うちキャンプサイト利用者1万4千人(07年)



ライブを観る合間に
バーベキューをしたり
テントで眠る

これってキャンプ、
旅行では？

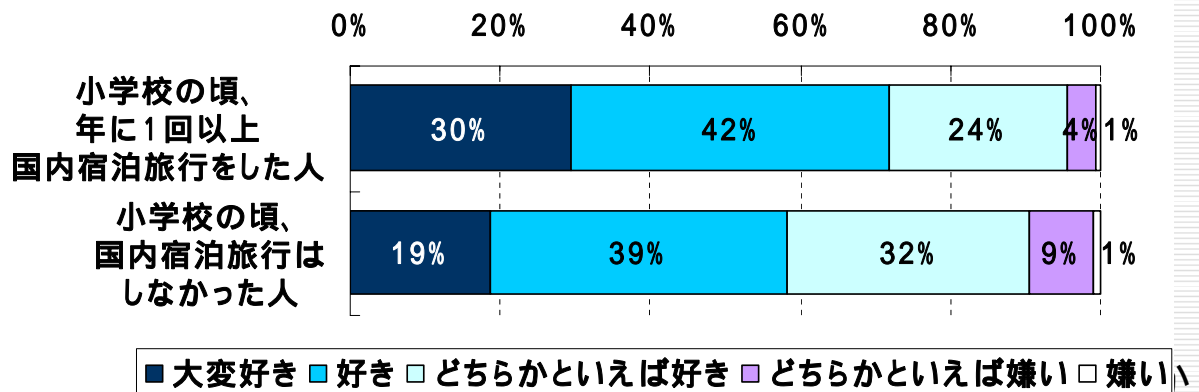
29

旅行に行くのではなく、日常の関心で動く

- 旅行に行くというよりも、日常の関心で動くように変化
- 20代はそれを旅行だと意識していない場合も
日常と非日常の境目がますますあいまいに
- 旅行者の日常への関心が
どういうところにあるのかを把握することが必要
- 自分の地域にある観光資源が
旅行者の日常とどう結びつくのかという見方が重要に

30

【旅行好きは子供の頃の旅行経験にもよる】



データ出所：財団法人日本交通公社「旅行者動向調査」 31

今後の国内旅行市場

- 旅行者数の大幅な増加は期待しにくい
- 旅行経験の高い年配層のシェアが増加
- 市場はますます成熟化、高齢化が進む

では団塊の世代は？

60代を迎える団塊世代

5年後60代前半の人口は今の **1.1 ~ 1.2** 倍

団塊世代対象にリタイア後の生活の「希望」を
尋ねる調査が目白押し...

しかし「旅行」の場合には、
「希望」していても「実施」に移すとは限らない

<「希望」と「実態」の差:具体例>

1999年海外旅行の希望率は42%(内閣府世論調査)だが、
最近5年間の海外旅行実施率は28%

【過去の旅行の「実態」から情報を引き出す】

60代の旅行特性 【加齢の影響】

団塊世代の旅行特性 【世代の違い】

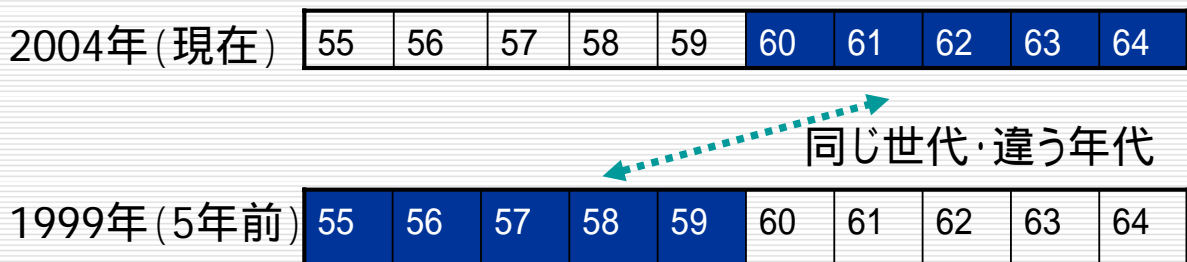


60代を迎えた後の団塊世代の旅行マーケットを予測

60代の旅行特性【加齢の影響】

団塊世代よりも5年上の世代を参考に、
60代の旅行特性(加齢の影響)を導出

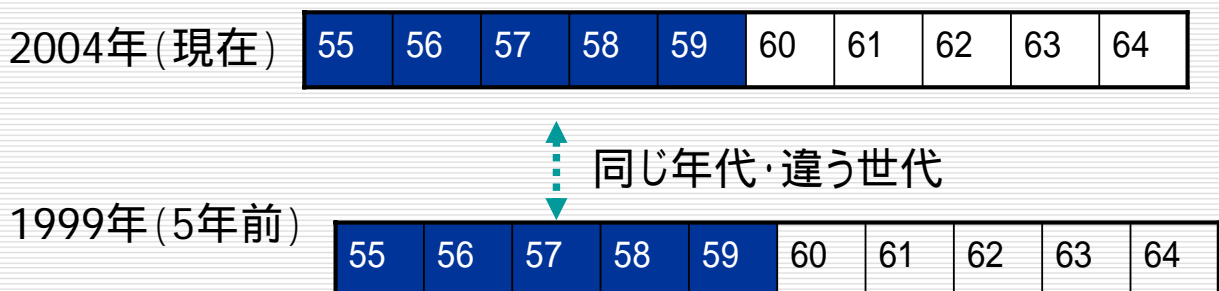
2004年の60代前半 と 1999年の50代後半 を比較



団塊世代の旅行特性【世代の特徴】

今50代後半である団塊世代と、
その5年上の世代が50代後半だった頃の旅行実態を
比較することによって、団塊世代の旅行特性を導出

2004年の50代後半 と 1999年の50代後半 を比較

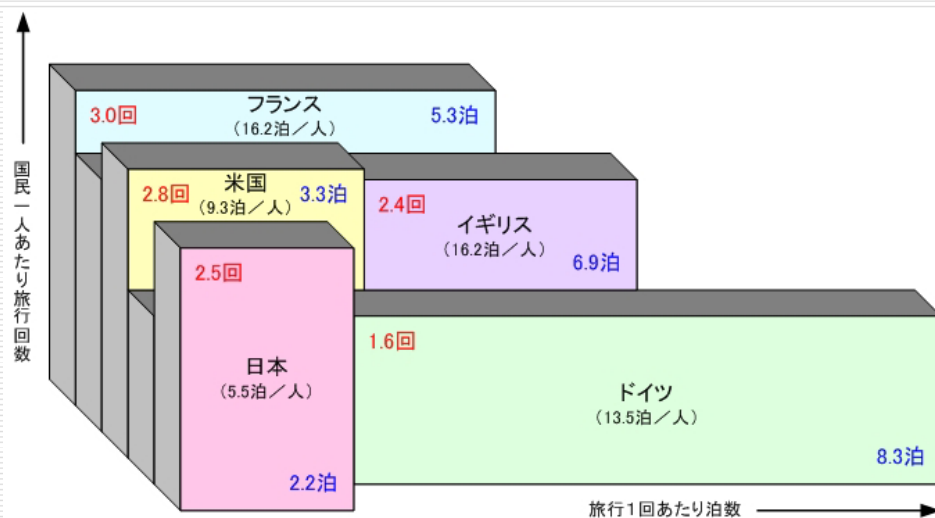


【予測】団塊世代が60代になったらこんな旅行をする！

- 現60代前半に比べ旅行量は **1割**程度の増加見込
- 夫婦旅行が増える ~シェア **4割**見込(現60代 3割)
- 1泊2日の短期旅行が増える ~シェア **7割**見込(6割)
- 温泉旅行が増える ~シェア **4割**見込(2.5割)
- 自家用車利用の旅行が増える ~シェア **5.5割**見込
(4.7割)
- 2~4万円の間価格帯が増える ~シェア **5割**見込
(4割)

4. 海外主要国の旅行

【観光旅行回数と泊数】



旅行回数は大差なし
1回当たりの泊数が短い

データ出所：リゾート事業協会「リゾート白書2007」 39

海外主要国との旅行比較（プリント参照）

【旅行形態の相違】

「自家用車」利用が少ない（日本5割、米国9割、英6-8割）

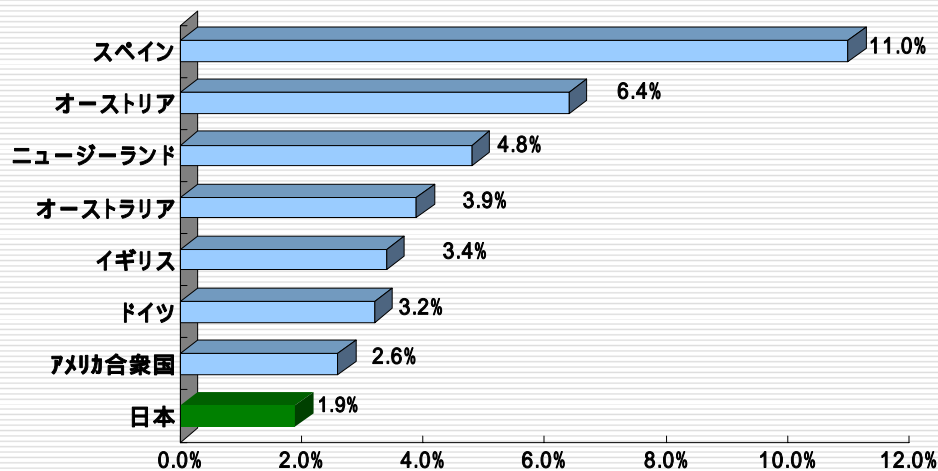
宿泊はホテル旅館中心（日本8-9割、欧米3-5割）

日本はまだまだ周遊観光中心、欧米はリゾート型・近郊レクリエーション型

データ出所：リゾート白書2007 40

海外主要国との旅行の比較（経済効果）

【ツーリズム産業の経済規模（GDPの旅行産業シェア）】

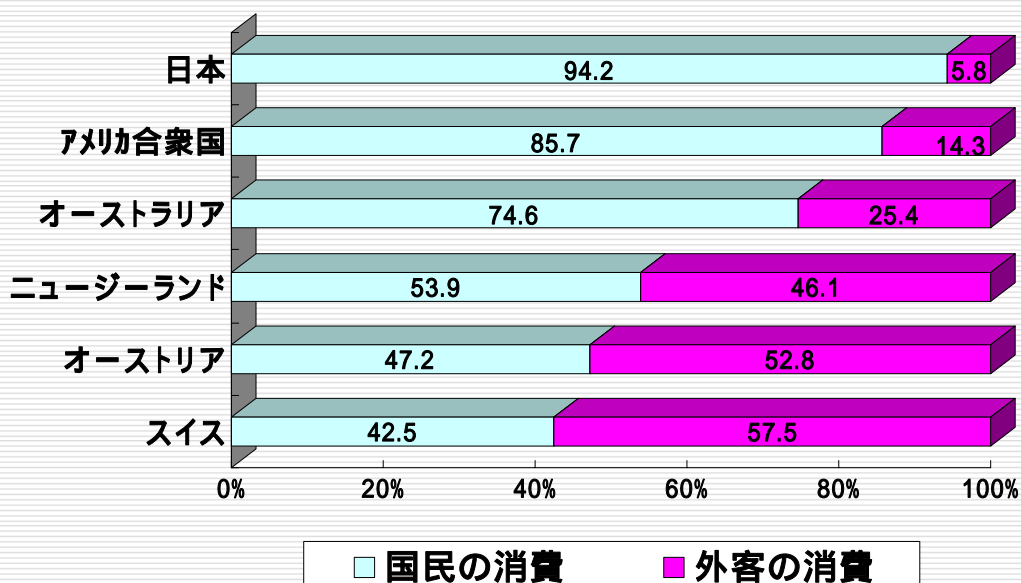


先進国の中でもかなり低いレベル

データ出所：国土交通省「旅行観光産業の経済効果調査」 41

海外主要国との旅行の比較（経済効果）

【国民の国内消費・外客消費の比率】



外訪日客の少ないこともGDPシェアの低い一因

データ出所：国土交通省「旅行観光産業の経済効果調査」 42